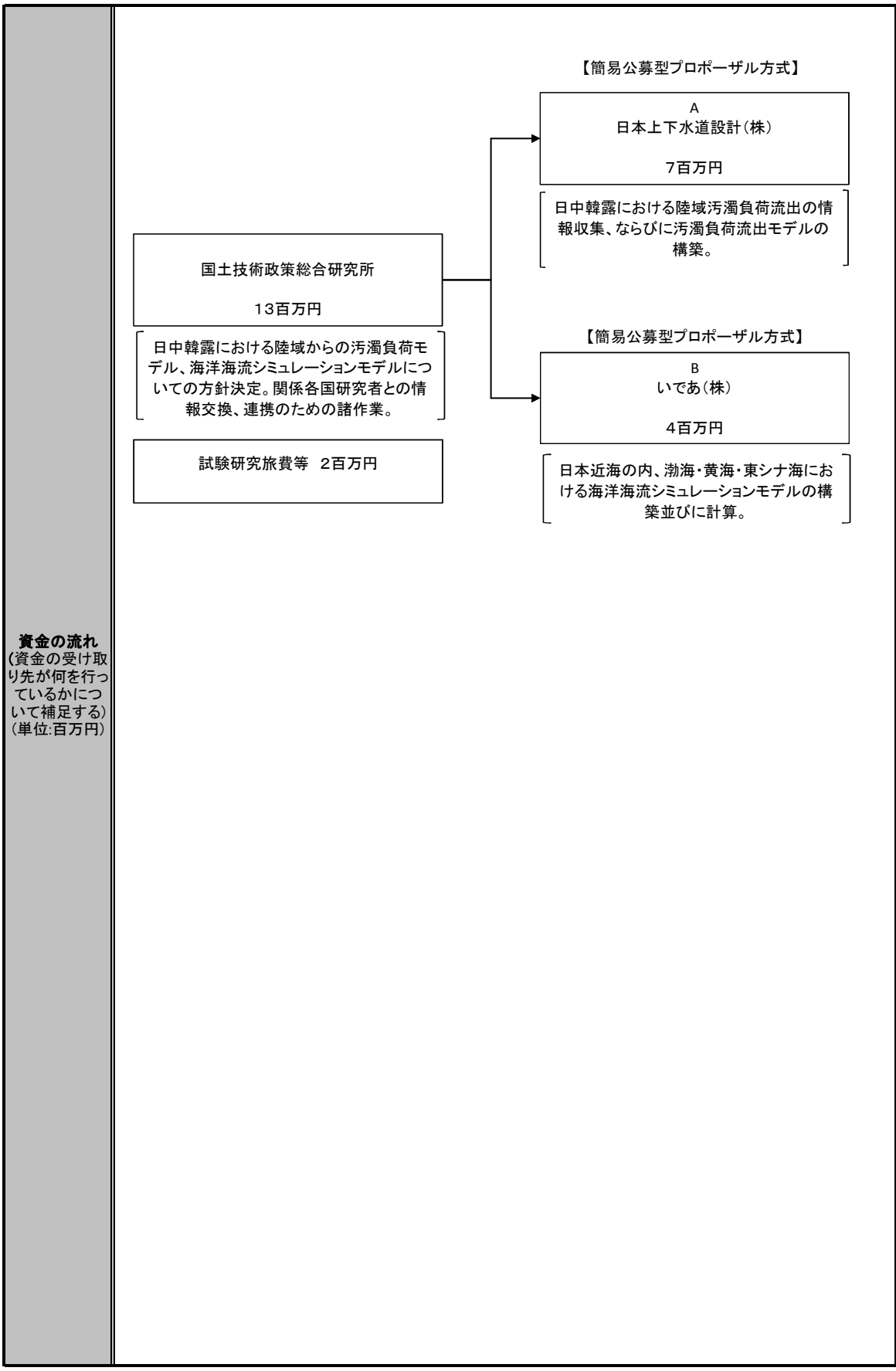


行政事業レビューシート (国土交通省)																					
予算事業名	日本近海における海洋環境の保全に関する研究		事業開始年度	平成20年度	作成責任者																
担当部署	国土技術政策総合研究所		担当課室	下水道研究室	下水道研究官 榊原隆																
会計区分	一般会計		上位政策	技術研究開発の推進																	
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(H18.3閣議決定) 国土交通省技術基本計画(H20.4) 海洋基本計画(平成20年3月18日閣議決定)																	
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	近年、日本近海における富栄養化の進行と赤潮の海洋漂流等の問題が顕在化している。本研究において、日本近海における水質汚染のシミュレーションモデルと日中韓露の将来経済成長シナリオを構築することにより、現況と将来における日中韓露の陸域からの汚濁負荷排出量及び海洋環境汚染状況を把握し、関係諸国間での問題の共有化並びに日本近海における海洋環境保全対策の促進に資するものとする。																				
事業概要 (5行程度以内。別添可)	渤海・黄海・東シナ海・日本海を対象とする日本近海において、富栄養化の進行と赤潮の海流漂流等を対象として、水質汚染のシミュレーションモデル及び日中韓露の将来経済成長シナリオを構築することにより、現況と将来における日中韓露の陸域からの汚濁負荷排出量及び日本近海の水質汚染状況の把握を行う。その結果を踏まえ、日中韓露の研究者と連携し、日本近海における海洋環境保全対策案について検討を行う。																				
実施状況	本事業は、平成20年度から平成22年度の3か年で実施する。 平成20年度は、日中韓露における水質汚染・土地利用・排出原単位等の情報収集並びに、海洋海流シミュレーションモデルについての情報収集を行った。 平成21年度は日中韓露における陸域からの汚濁負荷流出モデル、将来経済成長シナリオの構築、ならびに渤海・黄海・東シナ海を対象として海洋海流シミュレーションモデルの構築を行った。																				
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求															
	予算額(補正後)	-	20	13	11	-															
	執行額	-	20	13																	
	執行率	-	99.7%	99.8%																	
総事業費(執行ベース)	-	-	-																		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> 支出先選定の妥当性については第三者期間である技術提案評価審査会により審議していただいている。 業務の主たる部分に係る再委託は禁止されているところであるが、主たる部分以外の再委託については、軽微なものを除き、再委託承諾申請書を求めており、支出先・用途を確認している。本業務においては、再委託承諾申請書を要する再委託はない。 支出の効果については、業務打合せ及び納品後の検査を通じて成果水準を的確に把握しており、本業務については当初の目的を達成する成果が得られている。 進捗状況に合わせて随時打合せを行うことにより、進捗管理を適切に行い、事業内容の精度・深度を十分に深めている。 																			
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> 支出先については、簡易公募型プロポーザル方式により公募を実施し、競争性の確保に努めており、今後も競争性の確保に努めるものとする。 業務発注を計画するにあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について十分検討を行い、効率的な執行に努めているところではあるが、簡易な調査等について別途業務として一般競争入札の採用を検討するなど、よりいっそうの効率化に努めるものとする。 																			
予算監視の所見	<p>【事業廃止】 平成22年度中に一定の成果が見込まれることから廃止。</p>																				
補記	<p>【予算科目】</p> <table border="0"> <tr> <td>・133 技術研究開発推進費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・13 科学技術振興費</td> <td>(21年度予算額)</td> <td>(21年度決算見込額)</td> </tr> <tr> <td>・13054-2122-08 試験研究旅費</td> <td>1百万円</td> <td>1百万円</td> </tr> <tr> <td>・13054-2122-08 外国旅費</td> <td>1百万円</td> <td>1百万円</td> </tr> <tr> <td>・13054-2123-09 試験研究費</td> <td>12百万円</td> <td>12百万円</td> </tr> </table> <p>※四捨五入しているため、合計値があわない場合がある。</p>						・133 技術研究開発推進費			・13 科学技術振興費	(21年度予算額)	(21年度決算見込額)	・13054-2122-08 試験研究旅費	1百万円	1百万円	・13054-2122-08 外国旅費	1百万円	1百万円	・13054-2123-09 試験研究費	12百万円	12百万円
・133 技術研究開発推進費																					
・13 科学技術振興費	(21年度予算額)	(21年度決算見込額)																			
・13054-2122-08 試験研究旅費	1百万円	1百万円																			
・13054-2122-08 外国旅費	1百万円	1百万円																			
・13054-2123-09 試験研究費	12百万円	12百万円																			



A. 日本上下水道設計(株)			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
その他	諸経費	2.5			
人件費	業務担当者人件費 (関連諸国における地形・土地利用・汚濁物質排出源単位等のデータ収集、関連諸国における汚濁負荷シミュレーションモデルの構築による汚濁負荷量の再現と予測、現地調査、ワークショップの開催、報告書作成、打ち合わせ)	2.1			
その他	技術経費	1.4			
その他	直接経費、消費税	1.3			
計		7.3	計		0
B. いであ(株)			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
その他	諸経費	1.7			
人件費	業務担当者人件費 (海洋環境シミュレーションモデルの選定および構築、経済成長および水質環境保全対策を考慮した海洋環境シナリオの検討、報告書作成、打ち合わせ)	1.5			
その他	技術経費	1			
その他	直接経費、消費税	0.2			
計		4.4	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)